

2022 年度国際バイオビジネス学科・キャリアデザイン総合型選抜 事前課題

近年、日本の食料自給率はカロリーや生産額からみて低迷しており、「国産農産物」の消費は国内生産を促すために重要である。その一方で、価格競争力のある海外からの「輸入農産物」は増加傾向にあるため、日本は世界でも有数の農産物輸入国であるといわれている。

食料自給率向上のための行動として国産農産物の消費・利用拡大は大切である一方、国民への意識調査では食品購入時の価格への意識は国産や産地情報への意識を上回っているという現状がある。

今後、日本の食料はどのように確保されるべきでしょうか。①「国産農産物」と「輸入農産物」の特徴を整理し、②食料自給率や国内生産に関連する具体的な課題を挙げ、③あなた自身の考えを 1,200 字以内で述べなさい。小論文作成に当たっては、必要に応じて資料を参照すること。

<注意事項>

- (1) 小論文の冒頭には「氏名」を必ず書いてください。
- (2) Microsoft Word 等のワープロソフトで作成し、「A4 サイズ」「40 字×36 行」でページ設定をしてください。文字のフォントは明朝体 10.5 ポイントを基本としますが、見出しや強調したいところなどについては自由に設定してかまいません。
- (3) 図表や写真を挿入する場合は、図表番号と題名を付け、出所（例：農林水産省「農林業センサス」2020 年）を明示してください。出所を明示しない場合は、減点対象となります。また、図表は 1,200 字には含めませんが、最大 3 つまでとします。
- (4) 引用する文献・新聞記事等については、出所（例：農林水産省「令和 2 年度食料・農業・農村白書」2021 年）を明示してください。出所を明示しない場合は「剽窃（ひょうせつ）」とみなされ、不正行為と認定されます。判定に当たっては、剽窃チェック（コピペ判定）・ソフトウェアを使用します。
- (5) インターネットの情報源についてはアドレス（URL）とアクセスした期日を明示してください（例：農林水産省(2021)「令和 2 年度食料・農業・農村白書」
https://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/r2/zenbun.html
（アクセス日：2021 年 6 月 1 日）。なお、Wikipedia の引用は認めません。
- (6) 引用文献（新聞記事やインターネットを含む）は、小論文の末尾に一括して示してください。引用文献一覧は 1,200 字に含めません。文中でどの文献を引用したかわかるように、著者名とその発表年を示してください（例：農林水産省（2018））。なお、文中で言及していない文献は引用文献あるいは参考文献として示してはいけません。
- (7) 脚注の使用は認めません。
- (8) 作成した小論文を A4 サイズの用紙に片面印刷したものを提出してください。複数枚数になるときは、ホチキス止めをしてください。
- (9) 当課題では、①自分の見解を支持する事例や根拠を考える力、②自分の見解を否定する立場を検討する力、③自分の見解を明確化する力、④これらを的確に文章として表現する力、を採点します。
- (10) その他不明な点がある場合は、k3hatana@nodai.ac.jp まで問い合わせてください。お問い合わせの際は件名の頭に【2022 キャリアデザイン総合型選抜】と入れてください。

以上